

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

作成：R4.2.10

法人名	社会福祉法人 長岡福祉協会	代表者	田宮 崇	法人・ 事業所 の特徴	H18年12月開設。同センター内にサテライト特養、ショートステイ、訪問介護ステーション併設。こぶし園初の小規模として地域啓発等を行っています。住み慣れた地域でその人らしい生活が維持できるように柔軟なサービスを提供し、暮らしを支えていけるように取り組んでいます。
事業所名	小規模多機能型居宅 介護美沢	管理者	川上喜代子		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	1人	3人	1人	1人	1人	3人	13人	6人	30人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	<p>①事業所自己評価についての学習会を全スタッフが参加できるように計画的に実施し、さらに理解を深める。</p> <p>②ミーティング時に改善計画（特に、ケアに対しての疑問は後まわしにせず、タブレットによる記録や情報共有をタイムリーに行う）に対する実施状況を確認し、ケアの質の向上に繋げる。</p>	<p>・スタッフ全員がサービス評価について学べるようにミーティング時等を利用して数回に分けて学習会を実施した。</p> <p>・ミーティング時に改善計画に対する実施状況を確認できた項目もあるが不十分な項目もあった。</p> <p>・タブレット端末を利用してタイムリーに記録や情報共有ができ、業務の効率化に繋がり、ご利用者と関わる時間が増加した。</p>	<p>・全スタッフが事業所自己評価の全ての項目について、しっかりと取り組まれている事がよく分かった。</p> <p>・タブレット端末が業務の効率化、情報共有に大変役立っていると感じる。</p> <p>・サービスの質の向上について重点的に取り組まれていると感じた。</p> <p>・感染症の影響で出来なかった事はやむを得ないと思う。</p> <p>・改善計画に対する取り組み不十分なところは改善を期待する。</p> <p>・改善計画に出来ていない点を盛り込み、より具体的にするために「どこで」「どのように」をポイントに計画を立ててはどうか。</p>	<p>① 改善計画に対する役割分担を行い、確実に改善計画の実施していく。</p> <p>② 改善計画に対する評価をミーティング時等で定期的に行い進捗状況を確認する。</p> <p>③ 接遇面の改善を重点的に行い、ケアの質を高める。</p>
B. 事業所のしつらえ・環境	<p>①年間を通して感染症予防対策を徹底して行う。</p> <p>②引き続き、計画的にご利用者と一緒に四季折々の飾りつけやアルバムを作成し、重点課題として、花壇の有効活用・外からご家族が面会しやすい様に外回りの環境を整える。</p>	<p>・年間通して消毒、換気、パーティションの設置等感染予防対策を行い徹底出来た。</p> <p>・ご利用者と一緒に玄関付近の飾りつけや、習字の掲示・アルバム作成等を実施し、四季の変化を感じて頂いた。</p> <p>・玄関周りの花壇の整備、窓越しに面会しやすいように外回りの</p>	<p>・感染症対策がしっかりと行われている。</p> <p>・四季折々の飾りつけがなされており、季節感を感じる設えになっている。</p> <p>・文化祭でご利用者の力作が展示しており、スタッフも含め楽しまれている様子が分かる。</p> <p>・ご利用者やご家族にも設えや環</p>	<p>① 引き続き、年間を通して感染予防対策を徹底して行う。</p> <p>② ご利用者やそのご家族にも事業所の設え・環境について年2回アンケートを実施し、改善に役立てる。</p> <p>③ センター後方の除草等の環境整備を実施して、地域の方にも楽しんでいただける様な設</p>

		<p>整備が実施出来た。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・センター後方の外回りの整備が不十分だった。</li> </ul>	<p>境についてアンケートを実施してはどうか。</p>	<p>えにする。</p>
C. 事業所と地域のかかわり	<p>①広報誌の内容を見直し、事業所に相談しやすくなる様又、興味を持って頂く様、地域にまつわる事や時節の有益な情報を掲載する。</p> <p>②事業所近隣地域の清掃活動を自主的に行う。(ゴミ拾い、落葉清掃等)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期的に広報誌を発行し、季節感を出すように心掛け、センターの様子・紹介等を掲載出来た。</li> <li>・コロナ禍の影響で地域と関わりのある行事がほとんど実施出来なかったが、「まちなね」については感染予防に配慮して実施でき、地域の方々に楽しんで頂いた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・広報誌により地域の方々にもセンターの様子が分かって良い。</li> <li>・広報誌をご覧になり、ここを利用してみたいと仰る方がいた。</li> <li>・今後も広報誌を置いて頂ける場所を探してみてもどうか。</li> <li>・コロナ禍で地域交流がない中でも工夫しながら「できること」を探して取り組まれている。</li> </ul>	<p>① 広報誌の設置先を拡大する。</p> <p>② 地域が必要とする情報をリサーチし、「まちなね」等の機会に地域の課題に対して適切な内容を発信できるようにする。</p>
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	<p>①感染症予防対策を徹底しつつ、係を中心に計画を立てて、お花見等、地域への外出を定期的に行い、地域交流を深める。</p> <p>②計画以外でも、個別ケアの強化のため外出の機会を増やす。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍の影響で計画していた外出の行事が実施出来ず、思うように地域交流が図れなかった。</li> <li>・送迎時、個別ケアとしてお花見や興味のあるスポットがあるルートを通り楽しんで頂いた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個別ケアとして、送迎時等を利用して興味のあるルートを通り、ご利用者に喜んで頂く工夫がなされていた。</li> <li>・「まちなね」が開催されているので感染症対策に配慮しつつご利用者も参加できると良い。</li> </ul>	<p>① ご利用者様とセンター周辺で散歩を行い、ゴミ拾いを実施する。</p> <p>② 個別ケアとして、地域で馴染みのある場所や興味のある場所に出向いてご利用者と共に楽しむ。</p> <p>③ 「まちなね」にご利用者も参加していただき地域の方との交流を図る。</p>
E. 運営推進会議を活かした取組み	<p>①なるべく多くのスタッフが運営推進会議に参加出来るように計画し、地域との関りを学び、理解を深める。参加できないスタッフからも地域に関する意見や疑問点等を事前に聞き会議に反映させる。</p> <p>②地域における課題・困りごと等を共有・検討して改善に繋げる。</p> <p>③相互に有益なものとなる様にテーマを工夫する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍の影響で運営推進会議の実施回数も少なく、スタッフの参加も限られた者だけの参加となった。</li> <li>・サービス評価の話し合いの中で相互に有意義な意見交換が出来た。</li> <li>・地域における困りごと等の事例検討は実施できなかった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・この状況の中で運営推進会議を実施し、意見交換できて良かった。</li> <li>・地域の課題（認知症対策）として、地域認知症高齢者の行方不明事案について相互に連携できると有り難い。</li> </ul> <p>地域の困りごと等の事例検討を実施してほしい。</p>	<p>① 運営推進会議の内容、出席職員をあらかじめ盛り込んだ年間計画を作成し、なるべく多くの職員が運営推進会議に参加できるようにする。</p> <p>② 地域における困難事例、または予想しうる困難事例を地域の方から伺い、運営推進会議の際に事例検討を実施してサポートセンター美沢はどう関わられるか共に考える。</p>

<p>F. 事業所の 防災・災害対策</p>	<p>① 事業所の特性を踏まえた防災訓練を実施して地域の方々にも参加して頂けるよう呼び掛け相互連携を図る。 ② 防災訓練後、広報を活用しセンターとしての役割を周知していく。 ③ 緊急時、福祉避難所としてなった場合のスタッフの行動を明確化させる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・消防署の方に来所して頂き有意義な防災訓練が出来た。</li> <li>・事業所で実施した訓練を撮影して運営推進会議の際に観て頂き、訓練内容を理解して頂いた。</li> <li>・コロナ禍の影響で地域の方々には参加して頂けなかった。</li> <li>・福祉避難所としてのスタッフ行動の明確化までに至らなかった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・防災計画を立て、事業所の特性に応じた防災訓練が行えていたようだが、具体的な内容を知りたい。</li> <li>・感染症の状況を考慮して今後、地域の方々と共に防災訓練を実施していきたい。</li> <li>・栖吉川の水害時の避難先をもっと考えて行きたい。</li> <li>・防災として交通安全も重要な課題</li> </ul>	<p>① 地域の防災訓練に職員を参加させていただく。 ② センターにおける防災訓練の際に行っている水消火器を使用する際の訓練等に年齢層を限定しないで地域の方の参加を広く募る。</p>
----------------------------	--	--	---	---